

## 7. 病院群の構成等

別表

基幹型病院の名称（所在都道府県）： 聖隷横浜病院 （ 神奈川県 ）

基幹型病院				協力型病院					臨床研修協力施設					研修プログラム			
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員		
神奈川県	横浜	(病院施設番号:031493)		神奈川県	横浜		独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター (病院施設番号:030253)		神奈川県	横浜	追加	一般財団法人育生会 横浜病院 (病院施設番号: )	○	聖隷横浜病院卒後臨床 研修プログラム	5		
				神奈川県	横浜		聖マリアンナ医科大学横浜市 西部病院 (病院施設番号:030255)						(病院施設番号: )				
				神奈川県	横浜		恩賜財団済生会横浜市南部病 院 (病院施設番号:030259)							(病院施設番号: )			
				神奈川県	川崎北部		聖マリアンナ医科大学病院 (病院施設番号:030269)							(病院施設番号: )			
				静岡県	駿東田方		一般財団法人芙蓉協会聖隷沼 津病院 (病院施設番号:031650)							(病院施設番号: )			
				神奈川県	横浜		医療法人平和会 平和病院 (病院施設番号:070025)							(病院施設番号: )			
				神奈川県	横浜		医療法人正永会 港北病院 (病院施設番号:070026)							(病院施設番号: )			
				神奈川県	湘南西部		東海大学医学部付属病院 (病院施設番号:030287)							(病院施設番号: )			
				神奈川県	横浜	追加	横浜市立みなと赤十字病院 (病院施設番号:030266)							(病院施設番号: )			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

横浜市の高齢者増加に伴い、産婦人科・小児科のニーズよりも内科中心の医療になっているため、同県内の大学病院にて研修を依頼。産婦人科・小児科が2020年度より必修に戻り、病棟を持たないクリニックは市内にあるが、病棟を持っている病院が基幹型病院となるため、研修医の受け入れがどの病院も非常に厳しい状況となる。聖隷沼津病院の地域医療の研修は削除するが、聖隷沼津病院では小児、産婦の患者も多く、指導医の指導も手厚い。聖隷沼津病院の研修医受入はほぼ100%受入が可能であり、県外の施設ではあるが、研修の質の確保と、研修を確実に修了するために協力病院の継続を申請する。

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。